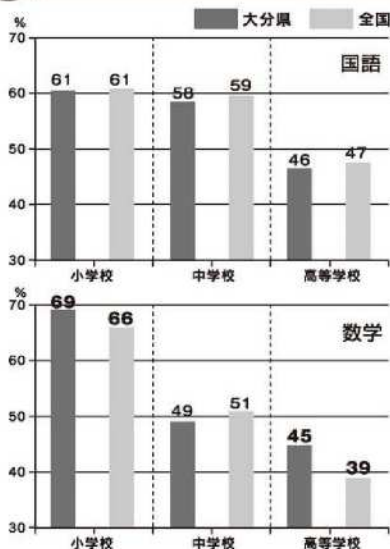


実像に迫る!

Q5 大分っ子は算数・数学好き

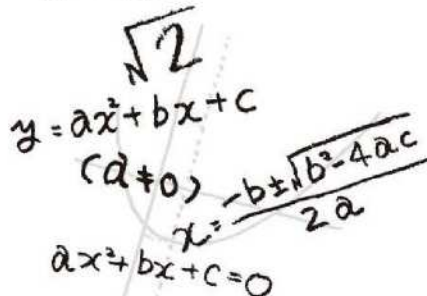
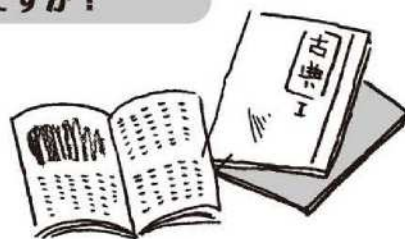


国語や算数・数学の勉強は好きですか?

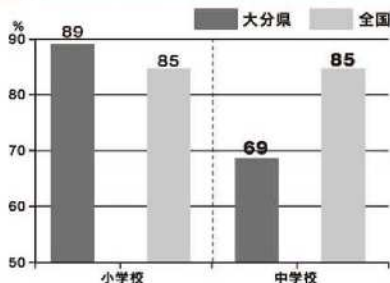
左の上下二つのグラフを見比べてください。共通して言えることは、本県、全国データともに、中学校、高等学校と進むにつれ、勉強が好きと回答する割合が低下していることが分かり、また、全国のデータと本県のデータはかなり似通っていると言えます。

あえて違いを探せば、小学校と高等学校で算数・数学好きという点で、やや本県の児童生徒が全国平均を上回っているようです。

次に、国語と算数・数学で比較すると、明らかに違いが見えてきます。それは、国語が好きという児童生徒の割合が、約60%からスタートし、最終的に約10ポイント強しか低下しないのに対し、数学については、約70%と国語より高率でスタートするものの最終的に高校生になると本県では40%台まで、全国で見ると30%台まで低下するなど数学が好きでなくなる子どもたちの割合が国語に比べ高くなっていることが分かります。



Q7 大分の中学生はもっと夢を持とう!

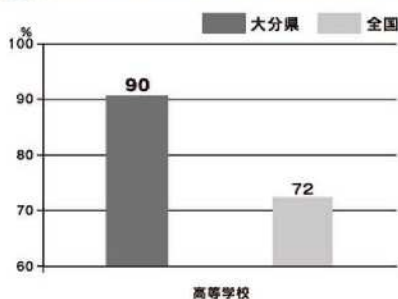


将来の夢や目標をもっていますか?

このアンケートは小中学生にしか行っていませんが、下の表のとおり本県と、全国のデータでは大きな違いがあります。全国では、小学生と中学生が同率で並んでいますが、本県では小学生の頃は夢や目標を持つ生徒の割合が全国平均より高く90%弱に上りますが、中学生では70%弱まで約20ポイントも低下しています。夢や目標を持つことは、子

どもたちにとって特に重要なことであり、中学生のお子さんを持つ保護者の皆様は、お子さんの将来の夢について家庭で話をする機会を設け、子どもたちが夢や目標を常に意識するように心がけていただきたいと思ひます。

Q8 大分の高校生はやっぱり自信满满!



勉強すれば、良い成績がとれると思いますか?

最後に、高校生のお子さんをお持ちの保護者の皆様に朗報です。


左の表は、勉強すれば良い成績がとれると答えた生徒の割合で、何と本県の生徒は90%以上が、勉強すれば良い成績はとれると考えており、全国データと比べて20ポイント近くも高くなっています。

これは、その気になって勉強しさえすれば、自分の成績は必ず上がるという確かな自信の現れですので、お子さんがその気になってその実力を発揮できるように応援してあげてください。

【アンケート調査の出典】
 ①「平成21年度基礎・基本の定着状況調査報告書」
 (全国データは平成20年度調査)
 対象者：県内の小学校5年生 307校 10,996人
 県内の中学校2年生 144校 11,138人
 ②「平成21年度学習習慣等実態調査」
 (全国データは平成17年度教育課程実施状況調査)
 対象者：県内の県立高等学校1年生 48校 8,257人

一口メモ

特集の最後に、お子さんが嫌いな言葉ワースト8 (全国データ) を紹介します。ドキとする言葉が並んでいます。これらの言葉はご家庭で使わずに、お子さんがやる気を出す魔法の言葉を探しましょう。100%やる気。



ワースト8

- 1 「勉強、勉強」
- 2 「そんな暇があったら」
- 3 「はやく、バカ」
- 4 「ほら、また」
- 5 「○○さんと比べて」
- 6 「あとで困るから」
- 7 「子どものくせに」
- 8 「情けない」